

1 英語教育の推進

参考 1

2020年度から全面実施される国の小学校における外国語教育改革 ～新学習指導要領～

改革の骨子

- 小学校での「外国語活動」の低学年化(現行の5・6年生 ⇒ 3・4年生)
- 5・6年生では英語が教科化

津市での取り組み

●市内モデル実践校の先行実施

義務教育学校 みさとの丘学園

- ◆新学習指導要領を先行実施
3・4年生：年間35時間、5・6年生：年間70時間
- ◆1・2年生で英語活動実施
1年生：年間18時間
2年生：年間21時間
- ◆朝の10分の短時間学習
- ◆中学校英語の免許を持つ教員が前期課程で英語を指導
- ◆ALTとのチーム・ティーチング



教育課程特例校 南が丘小学校

- ◆1年生から6年生まで教科としての英語科を実施
1年生：年間17時間
2～6年生：年間35時間
- ◆英語科の研究
 - ・指導方法や授業内容の研究
 - ・教材、教具の開発や工夫
 - ・中学校との連携



市内の小学校へ発信

現 行

【小学校5・6年生】活動型 年間35単位時間(週1コマ程度)

平成30・31年度(津市が先行実施)

【小学校3・4年生】活動型

- ・年間35単位時間(週1コマ程度)※30年度15単位時間
- ・「聞くこと」「話すこと」を中心
- ・外国語に慣れ親しませ、学習への動機づけ

【小学校5・6年生】教科型

- ・年間70単位時間(週2コマ程度)※30年度50単位時間
- ・段階的に「読むこと」「書くこと」の取組
- ・小学校で600～700語程度

2020年度 新学習指導要領の全面実施